



JARL 青森県支部ニュース



◇発行：JARL 青森県支部 ◇発行責任者：JR7GBL ◇掲載責任者：JO7GVC ◇編集責任者：JK7LXU

新支部長に JR7GBL・平川さん



▲新支部長の平川さん(左)と握手する佐藤支部長

東北地方本部社員は JF7PFW・加藤さん

JARL 通常選挙がこのほど告示され、青森県支部社員(県支部長)に JR7GBL・平川正敏さん(田舎館村)、定員 8 人の東北地方本部社員に JF7PFW・加藤全健さん(弘前市)が、それぞれ無投票で選出されました。

◇6月から2年間の任期◇

8 期 16 年にわたって第 3 代支部長を務めた JE7JGG・佐藤眸さん(青森市)は、6 月開催予定の定時社員総会終了とともに任期満了で勇退されます。佐藤さん、長い間大変お疲れ様でした。新社員と同総会で選任される新理事の任期は 2 年です。

◆3つの基本方針を表明◆

新支部長の平川さんは、県支部活動を支える「3つの基本方針」

を表明、会員のみなさんに理解と協力をお願いしています。1つは「デジタル通信の普及推進」で APR S や D-STAR、WIRES の運用講習会を計画。

次に「HF 通信の活性化」を目的に DX 通信の魅力を発信する座談会を開催。3つ目は年 1 回発行の青森県支部報のほかに「支部ニュース PDF 版」を随時発行、広報活動の充実を掲げています。

《プロフィール》

JR7GBL

ひらかわまさとし

1951 年生まれ

(てんびん座)

田舎館村在住

元会社役員

XYL もハム

3つの基本方針

- ◇デジタル通信の普及推進
- ◇HF 通信の活性化
- ◇支部ニュース PDF 版発行

1 位記念品に焼酎・津軽海峡

◇第 12 回津軽海峡コンテスト◇

5 月 10～11 日開催の第 12 回津軽海峡コンテストは今年から 3 年間、各部門の 1 位に記念品としてコメ焼酎「津軽海峡」を贈呈します。

<http://jarlaomori.sblo.jp/article/92374471.html>

同コンテストの使用周波数は 50MHz から 430 MHz までの 3 バンドで、電信電話部門のみ。渡島檜山支部との交流事業で、参加資格は管内局が渡島・檜山振興局内または青森県内で運用する局。管外局は管内局以外の局。日本国内で運用する全てのアマチュア局が対象です。



▲試飲用の津軽海峡を手にご機嫌の佐藤支部長

種 目	コードナンバー	
	管内局	管外局
個人局 50MHz	AO50	KG50
個人局 144MHz	AO144	KG144
個人局 430MHz	AO430	KG430
個人局 マルチバンド	AOM	KGM
社団局	AOS	KGS

県支部大会の開催地を募集!!

第 42 回 JARL 青森県支部大会は 10 月 5 日(日)に開催されます。前日の 4 日(土)は青函交流を兼ねた前夜祭です。

地元開催を希望する支部登録クラブ代表、県支部役員がいましたらお知らせください。過去 5 回は、三沢市、八戸市、青森市、むつ市、弘前市の順となっています。

アワードで楽しむ HF 海外通信の魅力



▲左から JA7BAL さん、JH7XRG さん、JA7MSQ さん。持っているのはオーナーロールの盾。MSQ さんは 2013 年ベスト・レポート賞(CQ 出版社贈呈)の盾を持参



★残るは P 5 のみ JA7BAL さん★

昭和 50 年(1975 年)3 月に船舶通信士を退職した JA7BAL さんは、雇用促進事業団職員になった同年 6 月に故郷・鯉ヶ沢町から弘前市に転居。青森市に 13 年間、五所川原市に 17 年間通勤しながらハムライフを続けました。

29 歳の転職を仲介してくれたのが無線仲間の JA7ADD・鈴木正弘さん。現在も言葉にならないくらい感謝しています。トップまで 1 エンティティで、超難関の P 5 (北朝鮮)だけを残しています。

★17 年かけてオーナーロール★

250 エンティティまでは順調に数を伸ばしましたが、300 から 310 まで非常に苦労したそうです。17 年をかけた平成 5 年(1993 年)1 月 31 日、晴れてオーナーロールを獲得しました。

この間、昭和 50 年(1975 年)10 月にはオール青森 DX アソシエーション(AADXA)創設に参画、初代会長に就きました。 ※次号につづく

DXCC オナーロール座談会 (上) 「貴重エンティティ」を追いかけ 40 年余

津軽地方の DX 愛好家が 4 月 5 日、弘前市で DXCC オナーロール 3 局と座談会を開催、HF 海外通信の魅力やアワード収集の楽しさなどについて語りました。

★県内のオーナーロールは 4 人★

「CQ ハムラジオ 3 月号」によると現在、本県在住のオーナーロールは 4 人。Mixed で部門トップの JA7MSQ・算用子徹さん(青森市)、残り 1 エンティティでトップ入りの JA7BAL・佐藤秀隆さん(弘前市)、この春晴れて 331 エンティティを獲得してオーナーロールに名前を連ねた JH7XRG・齋藤久世志さん(平川市)、CW 部門で 331 エンティティの JI7NUF・鳥谷部康治さん(八戸市)です。

※オーナーロールの対象は、現存 340~321 エンティティの申請が認められた局。既に獲得済みでも消滅エンティティの関係でリストに局名がない場合があります。<http://www.arrl.org.dxcc>

★3 局座談会を連載★

座談会には JA7BAL さん、JA7MSQ さん、JH7XRG さんの 3 人が出席。数あるアワードの中で DXCC にこだわる理由や魅力、獲得エンティティ数を増やすための心得などについて語ってもらいました。



▲IOTA ロゴマーク アワードは RSGB 発行



▲CQ マガジン社の WAZ



▲JARL 発行の HAC

【DXCC】

DX Century Club の略。ARRL (米国アマチュア無線連盟) が定める現存 340 エンティティと交信、証明を取得してアワード申請が出来る。Mixed、Phone、CW、Digital の 4 部門がある。331 以上にオーナーロール盾が授与、340 は Top of The Honor Roll で、特製の盾とバッジが授与される。



▲座談会には津軽地方の DXer 有志が駆け付けたました